

OJTや教職大学院との連携を取り入れた初任者研修の改革

調査の概要

◆課題認識

- ・初任者研修対象者が増加する中で初任者の指導や研修を充実させること
- ・学校全体で初任者を指導する体制の整備
- ・初任者を指導する教員の資質向上

◆調査研究の目的

- ・学校全体で初任者を指導する継続的な体制を構築し、個々の初任者の実態に即した研修を充実させること
- ・OJTを取り入れたメンター制による研修を実施し、その成果や課題を明らかにし、初任者研修を抜本的に改革していくこと
- ・調査研究校間で校内研修や校内研究の交流を行うことにより、自校の取組の見直しを図ること

◆調査研究の方法

- ・年間2回調査研究校連絡協議会を開催
- ・年間2回の研修コーディネーター（大学教授）、指導主事等による学校訪問を実施

◆調査研究校

- ・滋賀県内公立中学校5校
- ・調査研究校として、1校に3名の初任者を配置

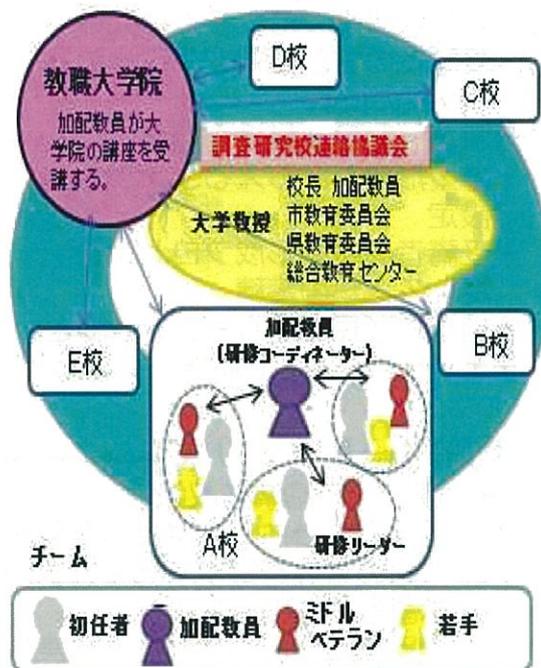
取組のポイント・成果

◆取組のポイント

- ①指導力向上を図るために、複数の研修チーム体制を設置
 - ・5年目までの若手教員（講師含む）のチームに経験豊かなミドルリーダーを配置し、相互研修やセミナーの開催
 - ・校内研修と連携した初任者研修の効率化・合理化
- ②体制を機能させていくための研修コーディネーターの配置
 - ・大学教授による助言を受け、初任者を指導する教員が教職大学院で学んだことを校内研修に活用し、初任者研修の実効性の向上を図ること
- ③「学び記録シート」の実施
 - ・年間を通じてメンターチームから学んだことをシートに記録
- ④メンター制研修実施の「アンケート」の実施
 - ・「生徒指導力」「コミュニケーション力」「授業力」「校内指導」等の24項目について初任者や初任者を指導する教員の質の向上を調査

◆成果

- ・初任者だけでなく、G-OJTに関わる教員の実践的指導力の向上、チームとしての組織的対応力の向上、若手教員がミドルリーダーに成長する等の人材育成につながった。
- ・研修を通して、ICTを活用した授業実践や特別な支援を必要とする生徒への支援について、ベテラン教員の意識が高まった。



今後の課題

◆学校規模に応じたメンター制を取り入れた初任者研修の実施体制の構築

- ・小規模校、中規模校におけるメンター制を取り入れた初任者研修の実施体制を推進していく。

◆学校間の連携

- ・近隣の初任者配置校と連携し、合同研修や情報交換を実施する。